



ひとり — 学習 — スポーツ — 趣味 — 奉仕

生涯学習

時代とともに中身も変わる

多様なまちづくりの意義

「まちづくり」と言ってもいろいろな呼び方があります。街づくり、町づくり、あるいは町おこしなどです。最近では、「まちづくり」と書くようです。これはとても幅広く使われています。

この「まちづくり」は、市町村長が意識する場合は、市町村全体を發展させる、ということになります。住民の方から言う場合は、住民の自治能力をどう高めるかになります。都市では、住民のコミュニティ意識や市民の連帯意識を高めるなど、人間の環境を意味することが多いのです。

一方、小さな町や村では、「地域の活性化」を指すことが多く、これは最も関心の集まる点でしょう。自治省は、地域の活性化、地域振興の意味で「まちづくり」を見ます。

一趣味 一奉仕

古い建物や家並、また民話など生活伝承、教育伝承が消えていきます。そうならないように無計画、無原則な開発にブレーキをかけることも大切です。

行政の人づくりという視点も見逃がせません。行政マンの教育に力を入れ、しっかりした行政マンを育てることはもちろん、住民の力も必要となります。

市町村長は、まちづくりは住民にとつての職場づくりだ、と明快です。豊かに生きるために雇用の場が必要であり、企業誘致や商店街の活性化に力を注ぐということもあります。

人は精神的な安らぎのある場を集めます。例えば、美術館、博物館、音楽ホールなどの文化施設をつくるのもまちづくりでしょう。情報や娯楽があつて、

生きる喜びを味わえる人間的な場にも人が集まります。それをめざすのも、まちづくりです。

生きがいがある生涯学習

もともとまちづくりはどこでも取り組まれています。が、「生涯学習」となると、地域の活性化をたて糸とするならば、横糸は生きがいがあるペースの生涯学習になるのです。

（生涯フォーラム・財社会教育協会発行）

なぜ、今「まちづくり」か
まちづくりはまちこわか、の問いかけもあるようです。開発だけを追求すると、自然破壊になり、まちの風格が失われ、

第36回山口県中学校

第三地区（長門大津）

英語唱読大会

〔日置中三年〕

四位入賞 岡崎 純子（古市上五位）
岡崎明子（大内山下）

特選作品

長門大津地区小中学校
読書感想文コンクール
審査結果

〔中学校〕

〔一年〕（☆は県展出品作）

☆梶川 貴代（長行）

上山 福子（狩宿）

〔二年〕

上山 純子（小野地）

〔三年〕

☆藤岡 留美（黄波戸）

〔小学校〕

〔一年〕

☆松橋 知也（向田）

☆先野 有香（上城）

〔二年〕

岡村 晋吾（黄波戸）

〔三年〕

☆小林 哲史（黄波戸）

〔四年〕

森永 浩介（長行）

〔六年〕

☆福永 真巳（黄波戸）

☆小林亜理沙（炭床）

中谷 有希（上城）

〔読書ノートコンクール〕

〔一年〕

☆藤嶋 由紀（小野地）

平成五年度漁場環境

保全運動ポスター

優秀賞（山口県漁連会長賞）

三年 小林 哲史（黄波戸）

家族でつくろう

海賊料理参加者募集

◆日時

十一月十三日（土）～十四日（日）

◆会場

山口県油谷青年の家

◆参加対象・人数

子供とその家族（十五家族五十人）

◆参加経費

一人二、五〇〇円（食事代・傷害保険料・写真代を含む）

◆申し込み・問い合わせ先

〒七五九一四五 油谷町伊上一

〇六八 山口県油谷青年の家

（☎三二一一〇〇〇）